

今回から「社会人の教科書」という本からです

小さな出費は年額にして換算してみる

飲みに行くとき、できるだけ安い飲み屋さんを探す努力をしたいと思います。

電化製品を購入するときも、何件か回って、同じ商品を少しでも安い値段で買おうとするでしょう。その金銭感覚は素晴らしいと思います。これからもぜひ継続していただきたいと思います。でも、以外に無頓着な部分があることを自覚しているでしょう。**コンビニの買い物です。**コンビニに行く習慣になっていませんか。必要なものを買に行き、ついでに買ってしまふ無駄なものがあるはず。一回あたり 300 円、朝と晩にコンビニに行けば、たちまち 600 円、700 円になってしまいます。自販機で買うジュースやお茶なども同じ。「そんな金額たいしたことないじゃん」そう思うかもしれません。学生時代はともかく、社会人になるといつでも財布にお金が入っています。千年単位、1 万円単位の出費には警戒しても、小銭に対する感覚が麻痺してしまうものです。やっかいなのは、極端に使い過ぎない限り、あなたの財政を圧迫しないことです。しかしながら、その油断が積み重なると、看過できない出費になるのです。銀行の手数料もそうです。銀行からお金を下ろすとき、仕事の忙しさから必ずしも営業時間内に ATM に行けないこともあると思います。そんなとき、あなたはどうしますか。手数料がもったいないから、翌日まで待ちますか。105 円、あるいは 210 円を払って、いまのお金を下ろすことを選択しますか。「105 円だから、まあいいか」そう考える人が大半だと思います。しかし、金利 1% もつかない時代に、無駄に手数料を払っていませんか。聞いた話ですが、ある知人が新入社員のときに、銀行からお金を引き出すときにかかった手数料を 1 年分計算し、その金額に驚愕したことがあったそうです。まず習慣づけて欲しいのは、**すべての出費を年額に換算することです。**コンビニで 1 日あたり 500 円の買い物をしたとすると、週 5 日の勤務で月に 1 万円の出費があるということです。これを年換算すると、12 万円という計算になります。果たしてコンビニでの買い物に年間 12 万円かけていいのか。あなたがこの金額をどう考えるかということです。小遣い帳のようなものをつけてもいいでしょう。細かく記入することを義務づけると、面倒になって続かないと思います。ざっくり書いておけばいいのです。それも面倒であれば、コンビニや自販機用の小銭入れを持ち、普段持ち歩いている財布と分けはいいかがでしょうか。何を買ったまで把握する必要はないので、その財布にいくら入れて、どれだけ出ていったかだけ把握してください。無意識のうちに無駄なお金を使う愚は、これである程度は防ぐことができると思います。もちろん、お金の使い方は本人の自由です。貯蓄さえしていれば、とやかく言われる筋合いのものはありません。ただ、**そのお金の使い方**で本当にいいのか。それだけはじっくり考えてみる必要があると思います。

お金の使い方に以外と無頓着なのは何ですか？

()

作者はお金に対して何を習慣づけて欲しいと言っていますか？

()

お金の使い方は本人の自由ですが、何を考える必要があると言っていますか？

()